

事後評価シート

調査研究課題名	日本インフラ産業の海外進出に係る基礎的情報に関する調査研究
担当者	研究調整官 山田浩次 研究官 大野佳哉
① 当初目標と目標達成度	<p>日本インフラ産業が海外進出を判断する際には、需要（具体的案件）の有無に加えて、ビジネス環境、国勢、生活環境等の幅広い情報が必要であるが、日本語で得られる情報には限られ、現在は一部大企業が必要に応じて独力で行うにとどまっている。今後、インフラ分野における海外進出を中堅・中小企業も含めて進めるためにはこれらの問題点を解決する必要があり、本調査研究はその必要に応えることを目的としたものである。</p> <p>日本インフラ企業の進出が期待される国・地域を開発途上国を中心に抽出した上で、海外進出の判断材料となる情報を国際機関ホームページ等の公開情報より収集・整理することにより、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>日本の経済成長には海外の成長力の取り込みが欠かせないとの認識に基づき、「日本再興戦略2016」において中堅・中小企業の海外進出支援及びインフラシステム輸出の拡大が掲げられている。また、国土交通省においても、「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画」を策定し、中小インフラ企業の海外展開を支援していくこととされている。その基礎的資料の作成を図る調査研究には妥当性がある。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>随時、省内関係部局、有識者等から、調査研究の進め方、調査内容の妥当性やまとめ方について助言をいただきながら、調査研究を進めた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果は報告書の形に取り纏め公表する。</p>